クリニカルパスウェイ
婦人科：静脈麻酔下子宮内容除去術（日帰り）　を受ける患者さんへ

※麻酔の覚め具合や出血の状況により、当日退院できない場合もあります。必要なものは各自お持ち

患者番号　@PATIENTID　　患者氏名　@PATIENTNAME

東京慈恵会医科大学西部医療センター

	外来（入院前）	外来（入院当日）	入院時	処置後	退院時	退院後の生活
日時	月　日	月　日				
目標	□処置に向けて身体的・精神的準備ができる		□不安を最小にし、処置を受けることができる	□処置が無事に終了する	□受診の目安や退院後の注意点がわかる	＜退院後の生活について＞ ＊処置後2～3日して38℃以上の発熱、下腹部痛、腰部痛、1週間以上経過しても血性のおりものが続き、量が増える場合には必ず必ず病院へご連絡ください。 ＊退院後は疲れたらすぐ横になり、少なくとも3日間はゆっくりと休養をとりましょう。家事や仕事も徐々に始め、普通の生活に戻るのは、1週間ぐらい経ってからにしましょう。 ＊出血がなくなるまでは浴槽に入らずシャワーにしてください。 ＊性生活は次回外来受診後、医師の許可が下りてからにしましょう。
食事	□（　/　）夜9時以降は食事をしないでください □水のみ入院当日の朝6時までお飲みいただけます	□6時以降飲食はせず来院してください	□処置前は絶飲食となります 	□麻酔が十分覚醒したことを確認した上で飲食を再開していきます	□特に制限はありませんが、処置当日の飲酒は控えましょう。	
活動	□手洗い・うがいを行い感染を予防し、体調を整えてください	□自動車・自転車・バイクを運転してこないでください □化粧・マニキュア・アクセサリー等ははずしていただきます □コンタクトレンズ・眼鏡・義歯を使用の方はケースをお持ちください	□横になってゆっくりお過ごしください	□トイレに行きたくなったら看護師にお知らせください。看護師が付き添ってトイレにいきます □歩行開始後は特に制限はありませんが、できるだけゆっくり休息をとってください	→	
検査処置	□手術前に必要な検査があります（血液・心電図・胸部ﾚﾝﾄｹﾞﾝ） □血圧・脈拍を測定します 	□9時に外来へいらしていただき、血圧を測定してお待ちください 子宮の入り口を広げる処置をします □処置後に病棟へ入院します	□体温・血圧・脈拍・呼吸数を測定します □術衣に着替えを行います □（　）時に処置室で処置を行います 処置前にお手洗いを済ませておいてください	→	→ □点滴の針を抜きます	
薬	□普段飲んでいる薬を確認します 手術前後は医師の指示に従い内服してください	□朝の6時に内服薬 （□飲む、□飲まない） 内服する薬剤名 （　）	□点滴を行います 		□退院時に痛み止めと抗生剤をお渡しします。夕食後から抗生剤の内服してください	
清潔	□特に制限はありません					
指導説明	□医師より病状説明があります □手術同意書に記名をお願いします □1階入退院受付にて入院手続きをします □緊急時連絡先を明確にしておいてください。当日は連絡が繋がるように家族間で調整してください。 □入院時、大きめの生理用ナプキン（2～3個）とショーツを持参してください □内服中のお薬を1日分持参してください(場合により1泊入院になる可能性があるため)		□入院中の予定、処置について看護師より説明があります □痛みのある時は痛み止めを使いますので、我慢せずにお知らせください	□お腹の痛み、吐き気等のあるときは我慢せずにお知らせください	□退院後の生活指導を行います □退院後の外来診察予約表をお受け取り下さい （　/　:　） ＊状況によりご家族のお迎えが必要な場合があります 	